

年 組 名前：

町の将来 若者目線で

市川三郷 課題探り活性化アイデア

市川三郷町にゆかりのある子どもや若者が、「市川三郷ワカモノ議会」と題して、行政と連携して町の課題や将来などについて考える探究活動を進めている。フィールドワークなどを通して町の活性化につながるアイデアや意見を考え、町職員らに発表することを計画している。企画した、同町出身で東京学芸大学大学院2年の吉原あさひさん(23)は「若者ならではの視点で町の未来を考える機会にしたい」と話している。

〈飯野 裕平〉



探究学習に取り組む「ワカモノ議員」ら＝市川三郷町役場

峡南



飯野 裕平
齋藤 君美

吉原さんによると、活動は人口減や財政難などの課題を抱える町の将来を若者世代が主体的に考える機会をつくらうと、昨年スタートした。メンバーは「ワカモノ議員」として町の将来像を議論。今年3月のイベントを経て、本格的に活動を始めた。

今年には町内外の小学生、高校生11人が参加。全5回のフィールドワークやワークショップを通じて、町の課題などについて理解を深めていく。8月には町役場本庁舎で、ワカモノ議員の任命式と初回の活動を共に実施。児童生徒は委嘱状や名刺を渡す。

本年度中に町内で町職員らを招いて、活動の研究成果を発表する。吉原さんは「ワカモノ議員が町の未来について考えた意見を町に届けていきたい」と話している。

(2025 年 10 月 29 日付 山梨日日新聞 16 面)

問1 市川三郷町で行われている「市川三郷ワカモノ議会」は、どのような探究活動ですか。

.....

問2 「市川三郷ワカモノ議会」の構成メンバーを教えてください。

.....

問3 あなたの生活している市町村で、「ワカモノ議会」が行われるとしたら、あなたは何について議論したいと考えますか。自由に教えてください。

.....

.....

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します

Copyright © 2025 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.